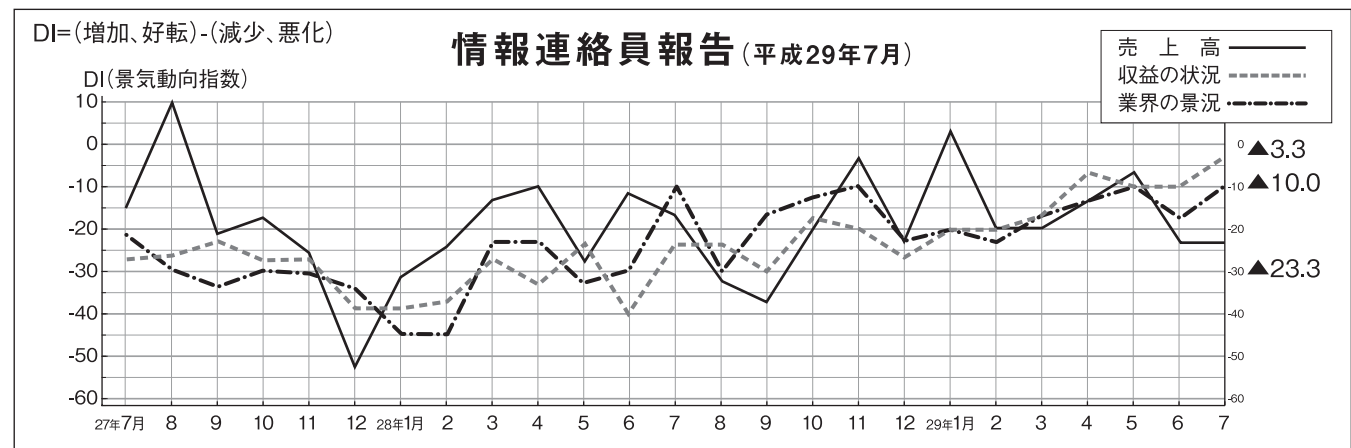


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

2017年7月(前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

食品団地
7月度商況は昨年並み。宅急便運賃が10月より値上げ実施。トラック便でも値上げの動きがあり、一部の商品や小口出荷商品の値上がりとなりそう。

生コンクリート製造
出荷数量は前年同月比102%。出荷量の地域差が大きい。高知市及び周辺地区の市況は徐々に改善されつつある。

酒類製造
引き続き県内の消費数量減少が全体量に影響。県外出荷はやや増加。

コンクリート製品
出荷数量は前年同月比51%。市況は急速に減少した。

水産食料品製造
塩干業界は主要品目のシラの不漁と仕入価格の上昇により収益状況が悪化した。月末になってようやく漁がありなんとか値上げをしたところ、売上が大幅に低下した。鯉節業界も原魚の不漁と価格上昇がおこっているが値上げに苦労しているようだ。

機械団地
売上高、収益などの指標は好不調のバラツキがあるが、各企業とも概ね前年並みの水準で推移している。団地内の業況に大きな変化は見られない。

木製品素材生産
7月は時期的に虫が入ることから、搬入量はスギで1割程度、ヒノキで2割程度のダウンであった。価格的には、スギ・ヒノキ共に1割程度の上落であった。

刃物製造
前半は商品の動きも良く、売上を伸ばすことができるのではないかと期待していたが、後半は受注も少なくなり動きが悪くなり、前年より落ち込んでしまった。とにかく受注品がすぐに出来ない状態が続く売上を伸ばすことができない。

製材
全般に活発な状況はみられず、こしばらくは現状維持の状況が続いている。

船舶製造
受注残の消化にて高い操業度となっている。

製紙
夏バテ(不需要期)もなく、順調に稼働。高知県特有の付加価値商品が定番化しており、季節変動が見られなくなっている。

珊瑚装飾品製造
7月度製品会取引高は、前年度同月比68%であった。特に業況に変化なし。

印刷
前月に引き続き官公需及び県内一般印刷は低調に推移。県外需要は地域及び業界により相違はあるが微増。全般的に見ると県内需要の落込みが響き前年度割れが継続している。

卸団地
景気回復は感じられない。新卒、中途とも採用難が続いている。猛暑の影響で一部の加工食品の消費が伸びている反面、野菜などは生産がダブつき苦戦している業種も多いようだ。

青果卸売
7月度の入荷状況は野菜が数量ベースで約100%に対し、平均キロ単価が80%強と大幅ダウン。果実は数量ベースで100%弱に対し、平均キロ単価は100%弱であった。ただしメイン商材のスイカ、ハウスみかん等の平均キロ単価が高かった。結果、野菜は大幅な相場安、果実は相場高により販売環境は厳しいものとなった。

商店街(四万十市)
売上等前年度とほぼ同等と思われる。7月は土曜夜市、納涼祭、月末にはしまんと市民祭が開催され踊りと提灯台で賑わい、それなりの集客があった。ただし、個店へのシャワー効果や後日の誘客に繋がったかどうかは疑問が残る。

生鮮魚介卸売
カツオ、小物は例年通りの入荷量でした。マグロの入荷が少なかった。廃業した店舗もあり買高の減少につながっている。

旅館・ホテル
平日は中四国規模の会議や全国大会等の開催に伴う宿泊があり稼働率が高くなった。週末は幕末維新博や地域イベント等により若干上回った。

各種小売(土佐市)
商店街を歩く人もまばらで少なく、暑くなると余計に外に出なくなるために寂しい状態に。各店動きもなく8月の大型連休へ少し期待している。

飲食店
先月の全国大会(愛知県)では喫茶業界がすごく活性化していた。高齢経営者も頑張っていた。高知のボリュームのあるモーニングサービスの喫茶文化を観光にと「高知家モーニング家族」を立ち上げ活性化を目指す。

ガソリンスタンド
原油市況はリビア、ナイジェリアの非OPEC国の増産などで軟調だが為替相場の円安ドル高の進展で原油コストは上昇し、ガソリン等の2週連続の値上げがあった。よって全国のガソリン小売価格は上昇したが、高知県の石油製品市場は変動がなかった。

旅行業
組合クーポン売上前年同月対比84%、全旅クーポンを加味して86%で売上の減少傾向が続いている。

電気機械器具小売
エアコンが好調で前年比103.6%、冷蔵庫102.6%。

一般土木建築工事
平成29年7月分の公共土木生コン出荷量は前年比124.7%、前年同月比105.5%の実績。防波堤工事や東部自動車道、幡多路の高速道路の延伸など大型工事は継続している。

中古自動車小売
目立ったことは無く推移している。軽自動車の新車販売は伸びている。

電気工事
組合員の施工による電力引込線関連の工事は前年同月比116.2%となった。前月に引き続きプラス圏を保つことができた。

商店街(安芸市)
チャレンジショップあきに4号店がオープン。

一般貨物自動車運送
7月に入っても荷動きは低調であるが、組合実績としては前月同様微増となった。燃料価格はジリジリと上がってきており、8月以降に不安が残る。

商店街(高知市)
中央公園地下駐車場利用状況は前年比売上71.1%、利用台数104.8%。今年の土曜夜市は5週とも天候に恵まれ、昨年以上の賑わいを見せた。6月の通行量調査では、平日はほぼ横這いながら、休日は前年比109.9%となった。

タクシー
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:98.5%、輸送回数:96.4%。当月の実働率は69.9%。

挑戦の数だけ、
保険がある。

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動